

献 辞

マイケル・ジョン・リトルモア教授（英語）は、今年3月31日定年（選択）を迎えられた。広島修道大学経済科学部では、リトルモア教授のこれまでの本学への貢献に対して心より感謝の意を表し、ここに退職記念号を刊行する。

リトルモア教授は、昭和48（1973）年7月、英国リーズ大学を優秀文学士として卒業、同年9月からオックスフォード大学大学院教育学研究科 P.G.C.E 課程に入学、昭和50（1975）年7月に修了され、更に博士課程に進学される。広島との縁は、この大学院時代、昭和49（1974）年1月に広島大学大学院に研究生として留学されたことに始まる。実際、昭和51（1976）年4月からは広島大学総合科学部に外国人講師（英語・英文学担当）として4年間勤務され、更に昭和55（1980）年4月からは東京大学教養学部言語文化センターに外国人講師として勤務される。同年5月からは、宮内庁皇太子家英語教育担当講師として3年間、浩宮、秋篠宮殿下下の英語教育を委嘱される。広島修道大学へ赴任されたのは昭和58（1983）年4月のことである（商学部専任講師）。翌年助教授の後、平成3（1991）年4月商学部教授に昇任される。この間、昭和60年8月より1年間英国オックスフォード大学に派遣研究された（平成19年にも2回目の派遣）。平成9（1997）年には、新設の経済科学部教授として配置換えとなり、平成13（2001）年には大学院経済科学研究科修士課程を担当された。本学へは丁度30年間勤務されたことになり、本年4月には本学名誉教授に就任された。

リトルモア教授の海外活動は外国好きのお父上の影響があるようで、既に昭和44（1969）年、高校時代に英国海外青年協力隊としてニューギニアに派遣されたことに始まる。昭和51（1976）年に来日後は逆に母国との関係を維持され、英国ケンブリッジ大学の英語学力試験委員（昭和55年）、英国大使館文化部英語教育コンサルタント（昭和55年）やサザンプトン大学国際バカロレア試験委員（昭和57年）を勤められ、近年はさらにその範囲を広げてブリタニア国際文学・芸術審査委員（平成2年）、日本フランス・キング協会役員（平成6年）、（財）広島文化センター評議員や Oxford Education Society 会員（平成22年）などを勤められた。なお、教授の名を一躍全国的にしたのは、昭和55（1980）年9月に始まったNHK ラジオ英語会話講座の講師であろう。これは昭和58（1983）年3月まで続いたので、これを聞いて英語の勉強をした本学の教職員もかなり居るようである。

リトルモア教授の研究業績については巻末「略歴・主要著作目録」に全容を掲載している。著書としては、家族が生まれ育った地である英国中西部 Middlewich の方言について纏められた“Voices of Middlewich: The Middlewich Dialect, 1973-1998”, 広島修道大学研究叢書第143号（平成21年11月）がある。CD が巻末付録として付いた形で出版された。学術論文は, “Vocabulary and Word Order: An Analysis Based on Selected Old English Texts”, 広島修大論集人文編, 31, 1（平成2年9月）他, 12編があり, 更に, 学会等の口頭発表, 教科書・辞典, 講演・講義, その他46件がある。

今年1月10日（木）に開催された最終講義, “My Alphabet of Japan” では, 昭和49（1974）年1月10日羽田空港に着いたとき（Arrival）から始まる。折しも Oil Shock の真ただ中であつたらしい。L の項, Littlemore 教授の日本語ペンネームは「小沼大助」というのであるがこれは東大の学生が付けてくれたのだそうである。M の項は「三次人形」である。教授の研究室に長く鎮座していた三次人形を頂いた。90数年位前, 大正末期頃作の菅原道真像であり, 経済科学部の学生の学業が成るようにとの教授の思いを添えて寄贈を受けた。適当なガラス箱がないので現在, 本館4階理事長室の本棚に収まっている。最後のZはZodiac, 占星術における12星座（黄道12宮）のことで, 教授の母上が1989年に占星術の本を書かれた。今回の帰国が年老いた母上の介護がきっかけの一つであつたようである。教授の最終講義における纏めの言葉を付記する。

“Do all that is expected of you and a little more”

最後に, 本学経済科学部および大学院経済科学研究科の今日の発展に多大な功績を残された Littlemore 先生に心より感謝の気持ちを表し, 先生のご健康をお祈りして献辞とする。なお, 教授は5月2日に英国に帰国され, その後, フランシス・キング氏の遺稿の整理, ギリシャ等の調査旅行の予定と聞く。また, 本年9月には再来日される予定である。

平成25年6月

経済科学部長
廣 光 清次郎